

# 八ヶ岳歩こう会 会報

## ■事務局からのお知らせ

### ◎年会費をお支払いください

例年ですと年会費は総会時にご持参いただいておりますが、今年もコロナ対策のために理事のみの出席となってしまいました。総会に出られなかった皆様方には例会参加時にご持参いただいたり、近くにお住いの会員の方の分を預かってきてくださったり等、お手数をおかけしております。ご協力に感謝申し上げます。

後若干名の方々が滞っておられるようでのですが、再度お振込み先を記しておきます。8月末までにはお振込みいただきますよう、お願い申し上げます。

年会費 ¥3,000 家族会員は ¥5,000

### 【ゆうちょ銀行の ATM または窓口で振り込む場合】

郵便振替口座番号 00260-4-131954

加入者名 八ヶ岳歩こう会

### 【郵貯以外の金融機関から振り込む場合】

受取人 ゆうちょ銀行 ○二九店（ゼロニキユウ）当座(ト) 0131954（当座です、お間違えないよう）八ヶ岳歩こう会（ヤツガタケアルコウカイ）

◎小野寿美枝さんに切手を寄付していただきました。ありがとうございました。

◎退会者：植松富子さん(北杜市)、武井靖弘さん(山梨市)

---

## 【2022年8月の行事詳細】

### ■8月22日(月) 江戸巡礼古道ウオーク～秩父三十四札所巡り～ 第2回

7番：法長寺～17番：定林寺

秩父札所のおこりは文暦元年(1234 鎌倉時代中期)と伝えられています。長享二年(1488 室町時代中期)には秩父札所番付が実在することから秩父札所が定着していたと考えられます。

ただ当時の札所は三十三カ所で、札所の順番も現在とは異なっていたようです。長野県佐久市にある石碑から大永五年(1525 室町時代後期)には現札所二番の真福寺も含め秩父三十四カ所となり、西国三十三、坂東三十三と合わせ日本百観音と数えられてきたようです。江戸時代までには四萬部寺を一番として始める現在の番付に改められ、点在する札所を結び江戸方面からの巡礼がしやすいよう巡礼道が整備されたようです。秩父札

所は江戸からも近くまた全ての札所が秩父内(武蔵の国秩父郡)にあり、二十五里ほどで全てを巡ることができることから江戸時代元禄年間には江戸の庶民の秩父巡礼が盛んになりました。ちなみに西国は一巡約二百五十里、坂東は一巡約三百里で、庶民が巡るにはかなりハードルが高かったと思います。江戸巡礼古道を使い秩父三十四札所を巡るウォークの第二回目です、札所7番の法長寺を出発し札所17番の定林寺あたりをゴールの目標にしますが、帰りの時間を優先し4時から4時半頃には秩父を出発します。7番から10番の大慈寺までは距離約6Kmで平坦な街歩きです。10番から11番常楽寺までは約1.5Kmの尾根伝いの遊歩道コースを予定しています。その後は街歩きというよりは田舎道歩きですが、こんなところが江戸巡礼古道?と思うような人家の庭先や狭い路地があつたり、結構楽しめます。

- ・コース：法長寺 → 西善寺 → 明智寺 → 大慈寺 → 常楽寺 → 野坂寺 → 慈眼寺 → 今宮坊 → 少林寺 → 西光寺 → 定林寺  
トイレは各札所とコース上にいくつかあります。昼食場所は未定です、ゴールの札所は進行状況により前後します。
- ・距離：約12km
- ・集合：平田家住宅前駐車場7:00 甲府駅北口7:50 道の駅花かげの郷まきおか8:30
- ・解散：道の駅花かげの郷まきおか18:20頃 甲府駅北口19:00頃 平田家住宅前20:00頃
- ・参加費：会員500円 一般1,000円 バス代 会員5,000円 一般5,500円(バス代は参加者数等により増減の可能性あります)
- ・持ち物：弁当、飲み物、雨具、ウォーキングダイアリー(会員のみ)、保険証等
- ・担当者：大嶋俊壽
- ・その他：新型コロナウイルスの感染状況によっては再延期、中止の可能性もあります、ご承知おきください。
- ・申込み：「バス乗車地」と「携帯番号」を添えて以下に申し込んでください。  
多賀純夫

■8月28日(日) ※棒道ウォーク ～東静歩こう会の方々と歩きましょう～

静岡県三島に事務局を構える「東静歩こう会」の方々が八ヶ岳山麓に涼みに(?)来ます。先日担当の方々が下見に来られ、多賀がご案内致しました。落葉松の林の中を涼しい涼しいと言って歩いてくれました♪ 8月の東静歩こう会の正式なバスウォーク行事として40名ほどで来県されます。「八ヶ岳の方々と一緒に歩きたい」と先方から言って下さったので、会報に掲載させていただきました。他会の主催なので押印はありませんが無料です。一人でも多くの方のご参加をいただき、歓迎の意を表したいと思いますので、よろしくご参加のほど、お願い申し上げます。

- ・距離：12km
- ・集合：三分一湧水会館 9:30
- ・解散：三分一湧水会館 15:00
- ・参加費：無料
- ・持ち物：お弁当 飲み物、雨具
- ・担当者：多賀純夫

なお、バスで来県されますのでスタート時間が多少ずれるかもしれません。「道の駅こぶちさわ」で弁当タイムの予定ですが、「火の見やぐら跡地」で軽食(行動食)を取る場合があります。皆様も弁当以外に行動食等のご用意をお願いします。

■8月29日(月) 鰻絵巡りシリーズ第9回 富士見町立沢の鰻絵巡り

今回は富士見の鰻絵どころと言われる立沢の鰻絵巡り。ここでは13ヶ所で蔵の鰻絵を見ることができます。なかでもユニークなのは神社脇の蔵の妻壁に奔放に描かれた鰻絵、左官さんの遊び心に思わず喝采を送りたくなります。地元の方にいろいろとお話を伺うことができました。土蔵の用途が無くなっている中、鰻絵の多くは老朽化がすすんでいますが、補修したくとも職人さんがいなくなったりして保存は大変なのだそうです。土蔵に鰻絵を施したのも「当時の流行だったんだよね」とのこと。

鰻絵以外にも立沢大橋からの眺望、そしてお昼にはおっこと亭でそばを楽しみ、謎に包まれた稗之底古村址を歩きましょう。シリーズの中でも一番標高の高いところを歩くこのコース、夏でもちょっと涼しさを感じられるのではないのでしょうか。



- ・コース：立沢農村公園(トイレ)ー立沢(鰻絵6件)ー神社(鰻絵1件)ー立沢(鰻絵2件)ー立沢大橋ーおっこと亭(昼食・トイレ)ー稗之底古村址ー立沢(鰻絵4件)ー立沢農村公園(トイレ)
- ・距離：約13km
- ・集合：10:00 立沢農村公園(長野県諏訪郡富士見町立沢)
- ・解散：15:00 立沢農村公園
- ・参加費：会員 300円 一般 500円

- ・持ち物：飲み物 雨具 ウォーキングダイアリー(会員のみ) 保険証等
- ・担当者：小澤 久 村松光比古
- ・その他：そば処おっこと亭での昼食を予定しています。事前に予約するため、希望者は当日朝の受付に申し出てください。なお、昼食持参の方は申し込み不要です。  
 <参考>もりそば+野菜天ぷら 3点盛り 1330円です。

### 【立沢大橋】

立場川と県道茅野北杜葦崎線をまたぐ立沢大橋は全長約606メートル。広域農道八ヶ岳エコーラインの橋梁としては最長で、富士山や南アルプス甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳の眺望地としても有名です。

### 【稗の底古村址(富士見町指定史跡)】

稗之底村(ひえのそこむら)は、境方十八ヶ村に数えられる古村でした。「諏訪郡諸村並(ならびに)旧蹟年代記」(筆者不明幕末)に引用される天性十八年(1590)の「諏訪郡御検地御高帳」に高三十六石三升と記載され、僅かな田畑を耕して生計を立てていたが、ついにこの地を捨てて去らざるを得なくなった。その厳しい状況を、後の文書では「右稗之底村ノ儀、八ヶ嶽下ニテ地所至ツテ寒ク、作毛生イ立チ兼ネ、其ニ上野山伐リ尽クシ渡世難儀仕リ、正保年中立沢新田へ引越シ、其ノ後明歴年中以前ノ村方へ罷リ帰り家作仕リ候得共、前諸ノ通り渡世仕リ難ク候ニ付キ、乙事村へ引越シ住居仕リ中馬稼ギ等仕リ候」と記している。これは宝歴十三年(1763)中馬紛争に関する幕府普請方の産物改めが行われた際に、乙事村の役人が差し出したものである。稗之底村を放棄した村人が立沢村・乙事村に移住したことは、書面で明らかである。また、伝承によれば植松姓、北原姓、五味姓(一部)は稗之底より移住したという。ちなみに、このとき移転したという明歴二年(1656)銘の六地藏石幢が乙事に現存する。こんにち跡地は埋もれ、特定するのは困難であるが、大先神社・屋敷平・稗之底の地名を残している。

(富士見町教育委員会資料参照)

「ZOOM ママの気ままなウォーキング」より

<https://8236.jp/kimama/walk/aruku/hienosoko-0628.html>

### 【2022年9月の行事詳細】

■9月2日(金) ~~吐竜の滝ウォーク~~ 中止しました。

■9月7日(水) 月例会 葦崎市民交流センター(ニコリ) 2階第9会議室 10:00

■9月12日(月) 信州佐久コスモス街道及びピンコロ地藏ウォーク

初秋の信州佐久は、千曲川の川面より爽やかな風が、心地よい汗を流してくれます。また、綺麗に咲いているコスモスの花は、優しく迎えてくれます。

古くは、旧中山道と旧佐久甲州街道が交わる宿場町として栄えました。今でも、昔の宿場町の面影が色濃く残っています。また、上野国の富岡につながる富岡街道は、佐久市内の街道では、時季に入ると9KMにわたってコスモスの花が咲き乱れます。地元では、コスモス街道と呼んでいます。信州佐久は、健康長寿まちとして知られています。地藏

長寿として有名なピンコロ地蔵さんにお参りして、ぴんぴん(健康で長生きし)ころり(寝込まず楽に大往生する)、お願いことが聞き入れてもらえそうです。

コースにおいては、アップダウンが少ないコースになっています。列の間隔が開かないように、歩行ペースに注意していきます。また、佐久盆地であるためかまだ暑い日が予想されます。水分補給及び休憩時間を通常より多く取りながらのウォーキングにしていきます。



- ・コース：中込駅(トイレ) → コスモス街道 → ピンコロ地蔵(昼食・トイレ) → 旧中込学校(トイレ) → 中込駅(トイレ)
- ・距離：約 13 k m
- ・集合：JR 小海線中込駅前 9 : 30  
中央本線・下り塩山駅 6 : 22 → 甲府駅 6 : 41・甲府駅 6 : 46 → 穴山駅 7 : 07  
→ 小淵沢駅 7 : 25  
小海線 小淵沢駅 7 : 45 → 中込駅 9 : 24
- ・解散 中込駅前 15 : 00  
小海線 中込駅 15 : 36 → 小淵沢駅 17 : 33  
中央本線・上り 小淵沢駅 17 : 39 → 穴山駅 17 : 56 → 甲府駅 18 : 18 → 塩山駅 18 : 43
- ・参加費：会員 300 円 一般 500 円
- ・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・マスク・保険証・その他
- ・担当者：田中哲夫 村松光比古
- ・その他：秋のJRダイヤ改正前の時刻です。時刻が変更になっていましたら、ホームページにてお知らせします。ホームページを見れない方は、お手数ですが担当迄に問合せ下さい。

■9月16日(金) ぶらり中山道バスウォーク JR 須原駅 ~ JR 一二兼駅

概要：木曾川に沿った街道が続きます。度重なる川の氾濫で崖上に宿場を移すが、今度

は山崩れ（土石流）で被害にあう等、災害と闘いながら存続した木曾の宿場町たち。どの宿場町も大火を出しながら、よくぞ今日まで歴史を繋いでくれたという感慨しきりです。今回は、街道沿いに丸太をくり抜いた水船が随所に置かれ「水船の里」と呼ばれた須原宿と、六町三尺（655m）という奈良井宿に次ぐ宿長を、全て外敵を防ぐために屈曲させて「野尻の七曲り」と言われた野尻宿、の2宿を中心に、ゆっくり歩きます。写真スポットもいっぱいですよ。

- ・距離；12 キロ（須原駅～橋場～道の駅～野尻宿～JR一二兼駅）
- ・昼食：今回は道の駅で自由に食べていただきます。簡便な食堂と少し凝った食堂の二つがありますのでご自由に。また、お弁当持参でもかまいません。



道の駅の食堂1



※2022年4月29日改定

道の駅食堂2

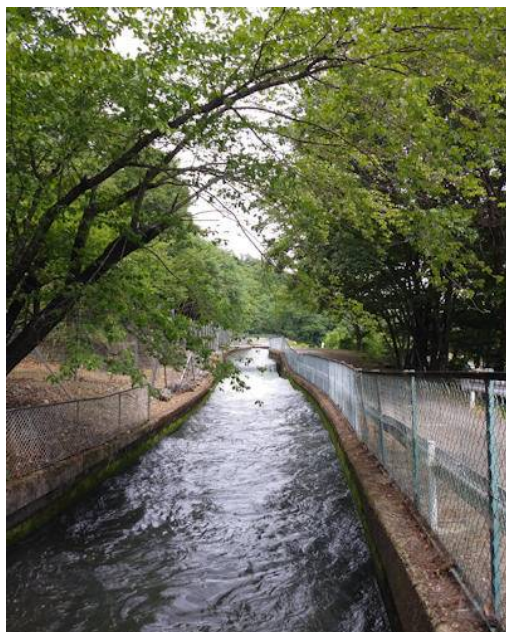
- ・バスコース往路：穴山駅（7：50）⇒長坂ローソン（8：10）⇒小淵沢駅（8：30）⇒須原駅（11：15）
- ・バスコース復路：JR 一二兼駅（近くの路側帯にバス停車 16：00）⇒穴山駅 19：00）
- ・現地集合の方：JR 須原駅に 11：15 集合（復路須原駅までバス乗車¥1,000）
- ・参加費：会員 300 円 一般 500 円
- ・バス代：会員 5,500 円 一般 6,000 円
- ・持ち物：お弁当（食堂を使わない方）、飲み物、ダイアリー、雨具、保険証
- ・担当：多賀純夫 風路和子
- ・申し込み：  
バス乗車地と携帯番号をお知らせください

■9月19日（月） 谷村路を往く（第2回）

■9月26日(月) 日本三大堰・徳島堰を巡るみち (Part 1)

美しい日本の歩きたくなるみち500選(19-8)

徳島堰を巡るみちシリーズは、徳島堰の流れに沿うようなルートになります。先人達が、なし遂げた大事業に思いを馳せながらのウォーキングになります。



- ・コース：穴山さくら公園(トイレ) → 穴山橋 → 午頭島公園(トイレ) → 徳島堰取水口 → 妙浄寺(昼食・トイレ) → 入戸野橋(にっこの) → 穴山さくら公園(トイレ)
- ・距離：約10km
- ・集合：穴山さくら公園(JR中央線、穴山駅となり) 10:30  
(穴山駅となりに駐車場があります。無料で駐車できます)  
中央線 上り小淵沢駅10:02→穴山駅10:19  
下り塩山駅9:26→甲府駅9:46・甲府駅10:06→穴山駅10:25
- ・解散：穴山さくら公園 15:00頃  
上り 穴山駅15:09→甲府駅15:32→塩山駅15:52  
下り 穴山駅15:10→小淵沢駅15:28
- ・参加費：会員300円 一般500円
- ・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・マスク・その他
- ・担当者：田中哲夫・恵星富子・池田敏子・望月澄子  
スタッフの方は、地元在住のメンバーです。シリーズを盛り上げていきます。
- ・その他：徳島堰が国の登録記念物に登録されることになりました。国文化審議会が、徳島堰を国登録記念物にふさわしい文化財として位置づけました。  
国内では、堰として(立梅用水・二ヶ領用水)についで三例目となります。

---

【2022年10月の行事詳細】

■10月5日(水) 月例会 韮崎市民交流センター(ニコリ) 1階第2和室 10:00

■10月10日(月) 鰻絵巡りシリーズ第10回 原村菖蒲沢・払沢地区の鰻絵巡り

八ヶ岳連峰から西になだらかに傾斜する原村は、標高1,000mを中心として森林と農用地が広がる自然豊かな村です。東には八ヶ岳、北に霧ヶ峰高原、北西はるか向こうは北アルプス、南には甲斐駒ヶ岳を望み、村のどこにいても四季折々の素晴らしい景観を体感できます。

人々は昔から高冷地での農業に苦勞し、漆喰壁の米倉を建て、各家の願いを込めて「鰻絵」を施していました。個性豊かな鰻絵の点在する風景が原村の魅力のひとつでもあります。

今回は中央線青柳駅から広大に広がる農用地をはさんで原村の玄関口：菖蒲沢地区、役場・学校・図書館・スーパーなどが集まる原村中心部の払沢地区の鰻絵を巡ります。数々の鰻絵に加え、きれいに刈り込んだ蔵をすっぽりと覆う防風生け垣もまた蔵の街に彩りをそえ、蔵を大切に守ってきたこの地の人の心をうかがうことができます。

緑と光あふれる田園風景をたのしみながら、宝さがしの気分で原村の鰻絵を巡ってみませんか。



- ・コース：青柳駅(トイレ)ー菖蒲沢(鰻絵4件)ー室内公民館ー図書館前公園(昼食・トイレ)ー払沢(鰻絵11件)ー原村役場(トイレ)ー判ノ木ー青柳駅(トイレ)
- ・距離：約15km
- ・集合：青柳駅 9時20分  
(甲府8:16→韮崎8:29→穴山8:36→長坂8:55→小淵沢9:02→青柳9:17)
- ・解散：青柳駅 15時(予定)  
(青柳15:10→小淵沢15:38→長坂15:45→穴山15:56→韮崎16:04→甲府16:17)

- ・参加費：会員 300 円 一般 500 円
- ・持ち物：昼食 飲み物 雨具 ウォーキングダイアリー(会員のみ) 保険証等
- ・担当者：小澤 久 村松光比古
- ・その他：標高差約 150mで、スタート地点から昼食場所に向かっては上り、帰りは下りとなります。青柳駅から原村の台地にかかるまでのしばらくは急な上り坂、帰りには一部未舗装の林道も歩きます。

■10月17日(月) 江戸巡礼古道ウォーク(第3回)

■10月24日(月) 日本三大堰・徳島堰を巡るみち(第2回)

---

### 【月例会】

- ・月例会は毎月一度の話し合いの場です。どなたも歓迎ですのでご参加下さい。

### 【例会参加者へ】

- ・特に表記のない例会は、雨天決行です。
- ・特別の場合を除いて事前申し込み不要です。
- ・例会は、どなたも参加できます。
- ・(下見)とある例会も本番同様進行します。ご遠慮なく参加お願いいたします。
- ・会員は会員証とウォーキング手帳を御持参下さい。(貰っていない方は事務局へ)
- ・タイトルの前に※があるのは当会主催ではありません。  
他会主催の場合の詳細はそれぞれの主催者にお問合わせ下さい
- ・例会についての質問は、担当者名が掲載されていればそこへ。それ以外は事務局へ。  
八ヶ岳歩こう会事務局 / 多賀純夫 電話 0551-32-5888 FAX 0551-32-6877